

その他の様々な観点での配慮

1. 国際理解

2年 p.6「メッセージ」、p.10（いろいろな国の踊りの音楽）6年 p.50などの外国の言葉や文化に触れる教材のほか、高学年の「君が代」のページでは他国の国旗や国歌を尊重する気持ちを育む内容を掲載しました。

2. 情報化や ICT 活用への対応

4年 p.28 や6年 p.51 のように、インターネットを活用しての調べ学習などについて触れています。

また、二次元コードを読み取って資料にアクセスすることができるようになっています。一部はオーケストラなどの団体のホームページにリンクしており、そこから興味に応じて更に情報を広く得ることもできます。

3. 幼・保及び中学校との接続

1年巻頭では、幼稚園、保育園で歌った曲を見つけて歌ったり、遊び歌を聴いたりするなど、幼・保での活動からのスムーズな移行が図られるように配慮しました。

中学校における学習内容にしっかりと備える意味で、小学校段階で押さえるべき内容を確実に学習できるような題材構成によって、教材や学習内容を設定しています。

6年 p.78 では中学校で学習する内容との架け橋になるような資料も用意しました。

4. 教科横断的な扱い

我が国の伝統的な音楽や、地域に伝わる音楽などを扱う題材を全学年に設けて、道徳科や生活科、あるいは社会科との関連をもつ学習ができるように配慮しました。

また、3年生以上では、英語で歌える易しい歌を掲載し、外国語活動と関連させながら扱うことができるように配慮しました。

5. 重量・判型

低学年に比べ中学年及び高学年が若干重くなっていますが、児童の身体的負担に対する配慮から、全体に軽量になるように紙質や判型を工夫しています。